

団体名 <b>沖縄県立糸満高等学校</b>	連絡先 TEL : <b>098-994-2012</b> Eメール : <a href="http://www.itoman-h.open.ed.jp/">http://www.itoman-h.open.ed.jp/</a>
--------------------------	---

## 1 実践事項 (2)

タイトル：「総合的な探究の時間の目標や特質に応じたまちづくりプロジェクト」

## 2 実践内容

本校は創立77年目の伝統校である。総合的な探究の時間「怒濤タイム」(各学年1単位)を中心に本校独自の特色である教育プログラムを展開している。ESDの視野を取り入れた体験的・探究的な学習の実践として、1年次に「まちづくりプロジェクト」「理科野外探究学習」、2年次に「平和ウォークラリー」、3年次に「社会野外探究学習」を実践している。

1年次で行われる「まちづくりプロジェクト」では、糸満高校1年次の目線で地域の現状をとらえ、地域の課題を発見し、よりよい地域社会の実現のために地域人材から課題解決の手法やプロセスを学び、自ら課題解決に取り組んだ。また、ICT等を活用して取り組んだ内容の発表会を実施した。

【情報の収集】必要な情報をインターネットや地域の人々から収集する。

【課題の設定】地域の魅力や課題を見つけテーマを持つ。

【整理・分析】収集した情報を整理・分析して考える。

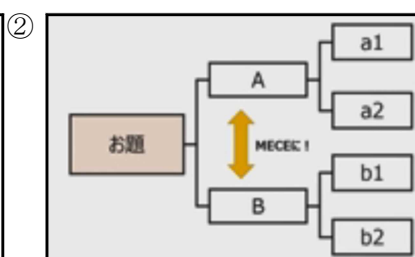
【まとめ・表現】気づいたことや自分の考えをまとめ、発表する。

## 3 説明資料 (写真、グラフ、図、表など)

① 総合的な探究の時間  
地域の魅力や課題に

**今後の流れ**

- ①ペア(原則2名)を結成する。
- ②発表する地域を決定し、その地域の魅力と課題を分析する。→**思考力を養う**
- ③ペアで地域の魅力と課題をまとめる
- ④ペアで**協働**して発表を行う(クラス)  
→**表現力・発表力を養う**



③

**提案するプロジェクト**

- ▶不審者に遭遇した時にスマホで簡易的に相談できる「ブログ」を開発したい。
- ▶学校の先生、警察に言いづらいと思う人も少なくはないと思います。私自身が実際に不審者に遭遇したなら「もし匿名でそ対面せずに気軽に相談できるなら」と思いかもしれません。
- ▶また、学生でない方もいます。「警察に行くほどではない」と思ってしまう人がほとんどなのでブログの開発は良いきっかけになると思います。



- ①地域課題探究についてオリエンテーションとペア決め・地域決め  
②ロジックツリーのPower Pointや動画を見て、物事の課題点や改善点の掘り下げ方を学ぶ  
③まちづくりプロジェクト実施計画書作り  
④発表リハーサル・クラス発表・クラス代表による発表

## 4 成果

この活動を通して、糸満高校生が地域の一員であることを自覚し、よりよい地域社会実現のために、自ら地域の課題を発見し課題解決に取り組む良い機会となった。「気づく力」「考える力」「行動する力」の育成にも繋がったと考える。また、普段からタブレットやスマートフォンを活用してはいるが、SNSやゲームアプリの使用が中心の生徒も多いので、「Power Point」を使用してのレポートや資料作成は、情報機器の活用という点でも良い機会となった。

## 5 課題

総合的な探究の時間においては「0学期宣言」等、調べ学習と発表の機会が続くため、資料のまとめ方、聞き手を意識した発表の仕方・伝え方をさらに工夫できるように意識付けを行っていきたい。